



今、県境が熱い! 越前・加賀 県境綱引き

あわら無念の敗北!

越前国
加賀国



右：加賀市実行委員長
左：あわら市実行委員長

イベントにかける思い
住民が交流しながら
県境に「にぎわい」を

「県境綱引き」あわら市実行委員長 三上徹さん

このイベントは、あわら市と加賀市で交流のあった人たちが以前から話し合っていたものです。思ったよりも観客が来ていて、盛り上がりも予想以上で驚きました。楽しそうなみんなの笑顔が見られて、実現できてよかったと思います。

「県境綱引き」の目的は住民同士の交流がメインですが、勝ち負けのイベントでもありません。今回は、あわら市全体で交流を深めて、県境に「にぎわい」を作りたいと思います。

県境で熱戦!

福井と石川の県境で隣接するあわら市吉崎と加賀市吉崎町。この県境上に建つ「越前・加賀県境の館」の前で、10月18日(日)に「第1回鹿島の森伝説越前・加賀県境綱引き」が行われました。

この綱引きは、越前の男神と加賀の女神が綱引きをして鹿島の森を取り合ったという「鹿島の森伝説」をもとに開催されたもの。大勢の市民が見守る中、越前の男神に扮したあわら市の橋本市長と加賀の女神に扮した加賀市の宮元市長を含む各10人の選抜メンバーが3本勝負を行いました。

鹿島の森伝説

今は昔、石川の女神様と福井の男神様が「鹿島」を見つけ、すぐに取り合いのけんかを始めた。お互いに譲ろうとはしないので、多くの神様が集まって相談した結果、綱引きで勝負をつけることになった。

石川の女神様は自分の長い髪を切って綱にし、福井の男神様は近くに落ちていた綱をもってきたが、勝負がつかず、とうとう一年が経ってしまった。そしてついに、勝負が決する日が来た。「よいしょよいしょ」と引っ張るうちに、どうしたのか、福井の男神様が「どすん」と尻餅をついてしまった。その瞬間勝負が決まり、鹿島は石川県のものとなり、「どすん」とついた尻餅の跡が北潟湖になったそうなの...



▼大人たちも真剣。



▲互いの健闘をたたえ合う。

▲男女とも強い芦原中チーム。



越前国が「どすん」と尻餅! 県境モニUMENTが1m あわら市側に移動し、勝利を祝う加賀市チーム。



▲交流綱引きには両市から17チームが参加。

残念ながら、越前方面の奮闘空しく綱ははずるずると加賀の方へ。結果、2本を先取した加賀市が勝利を収めました。



▲当日は約1500人が来場。応援にも力が入ります。

**伝説だけじゃない!
「加賀の鹿島か越前の鹿島か」**

この島は、江戸時代の元禄まで離れ島でありましたが、加賀藩が25年もかかって、鹿島新道を造り、吉崎から歩いて鹿島へ行けるようになりました。それから鹿島は離れ島ではなくになりましたが、それでも越前の鹿島か加賀の鹿島か、はつきりしませんでした。

吉崎と鹿島との間に境界ができ、加賀の鹿島と決まったのは明治17年10月のことです。

出典「金津ふるりの手帖」(金津町発行)

加賀の国(塩屋)「はつぴ」チームの皆さん

最高に楽しかった! 越前国の皆さんは来年もつと鍛えてきてください(笑)

この綱引きであわら市の皆さんと久々に交流できてよかったです。塩屋祭りにもぎやかな祭りなので、ぜひ見に来てください。



蓮如さんでつながるあわらと加賀

オペレッタで伝える蓮如さんものがたり

吉崎小学校児童や吉崎分園の園児が吉崎湖畔のタペで毎年上演するオペレッタ。蓮如上人が吉崎を布教の地に定めるまでの半生を熱演しました。

加賀市伝統のシャヤマシャ踊り

蓮如上人から教えられたとも伝えられることから「蓮如踊り」と呼ばれる盆踊り「シャヤマシャ踊り」を保存会の皆さんが披露しました。



先行予約するとプレミアム絵札がもらえるよ!

「蓮如さんかるた」発売中!

蓮如上人にまつわるエピソードをかるたにしました。お申し込みは政策課まで。

73-80005

絵札は日本漫画界の巨匠、里中満智子、永井豪、木村直巳の3人が描いています。

